

# 原木・製品生産のアンケート結果等 (北海道地区)

---

令和2年10月  
林野庁

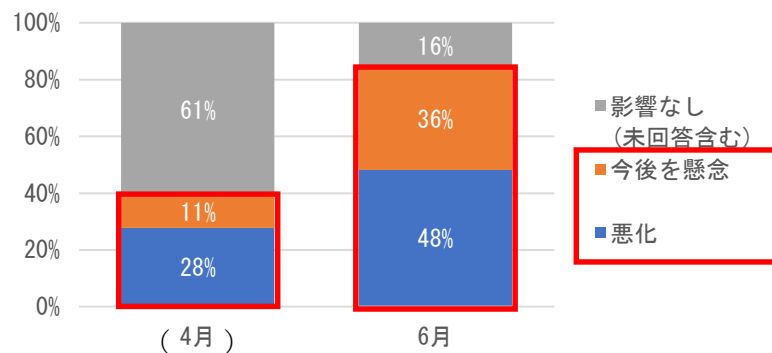
# 1 原木生産（全国）

素材生産事業者を対象に6月の状況について調査（回答数256）を実施したところ（4月の回答数は228）

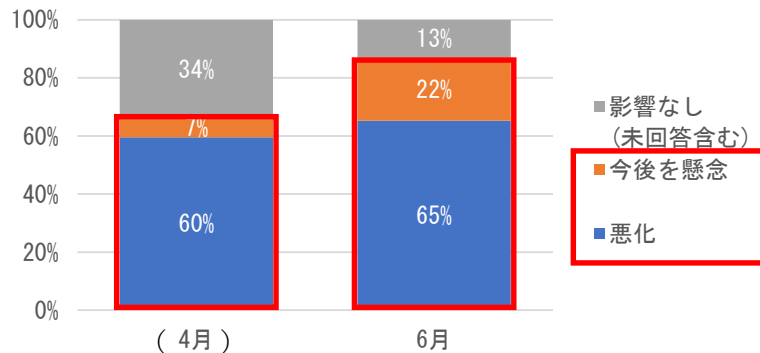
- ・ **出荷数量の動向**について、**悪化または今後を懸念していると回答した事業者が約8割**であり、4月から4割増加。
- ・ **販売価格の動向**について、**悪化または今後を懸念していると回答した事業者が約9割**であり、4月から2割増加。
- ・ 8月の時点では需要の回復が見込めず、工場の減産、原木価格の下落が続くことを懸念。

## ○出荷量・販売価格状況

■ 出荷数量の動向（前年同月比）



■ 販売価格の動向（前年同月比）



## ■ 8月時点の情報

### 【現状】

- ・ 製材工場等における原木の受入制限や原木価格の下落を受け、販売量は減少。
- ・ 一方、7月豪雨の影響により、九州地方では出材量が減少し原木価格が反発。
- ・ 燃料用材の需要は堅調。

### 【見通し】

- ・ 先行きは不透明。
- ・ 需要の回復が見込めず、工場の減産、原木価格の下落が続くおそれ。
- ・ 豪雨の影響による原木価格の反発は一時的とみられる。

# 1 原木生産（全国）（つづき）

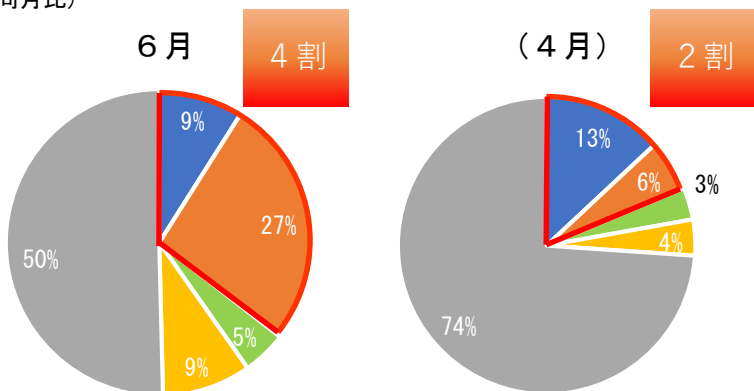
- ・生産状況について、減産していると回答した事業者が約4割であり（4月比2割増）、減産割合も「20%以上」が増加している。
- ・雇用確保のため素材生産の代替として、造林・保育へ移行（51%）、皆伐から間伐へ移行（38%）している。
- ・また7月以降、約3割の事業者が減産を実施予定と回答。

## ○生産状況、雇用

### ■生産状況（前年同月比）

- 減産 20%未満
- 減産 20%以上

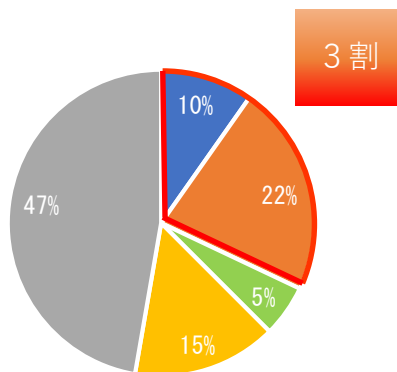
- 増産
- 変更したいが困難
- 増減なし（未回答含む）



### ■7月以降の生産状況（予定）（前年同月比）

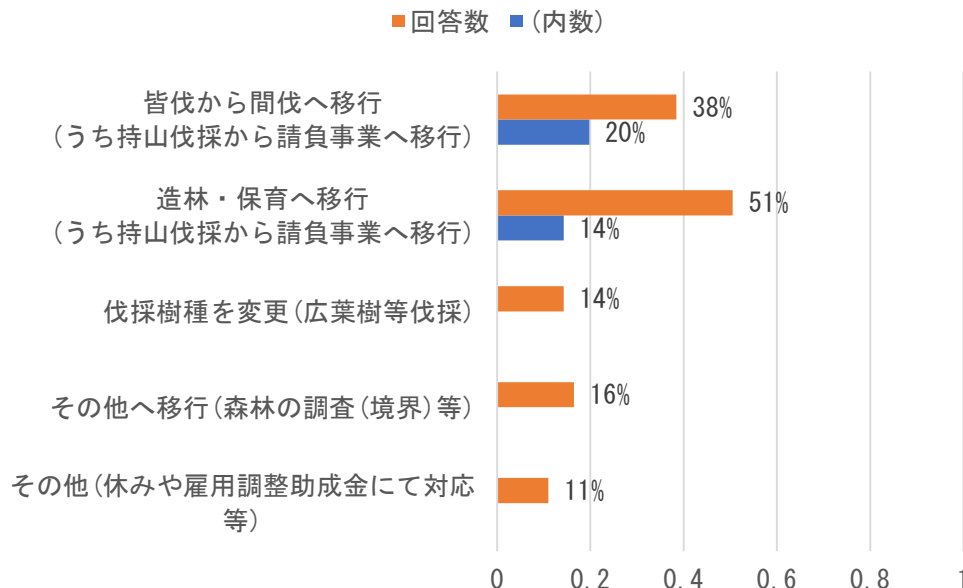
- 減産 20%未満
- 減産 20%以上

- 増産
- 変更したいが困難
- 増減なし（未回答含む）



### ■作業の移行状況

（減産を実施している事業者の回答）（複数回答有）



### ■8月時点の情報

#### 【現状】

- ・販売状況の悪化や7月の長雨（豪雨）の影響に伴い、生産量は減少。
- ・生産に伴わない作業へ移行し雇用を確保している。

#### 【見通し】

- ・先行きは不透明。
- ・経営状況の悪化が懸念される。

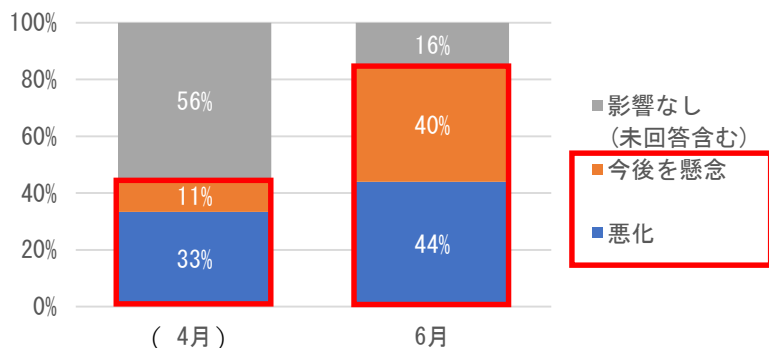
# 1 原木生産（北海道地区）

素材生産事業者を対象に6月の状況について調査（回答数25）を実施したところ（4月の回答数は9）、

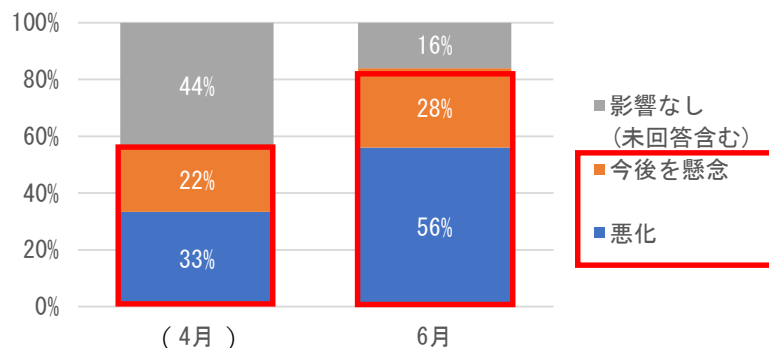
- ・ 出荷数量の動向について、悪化又は今後を懸念と回答した事業者が約8割であり、4月から4割増加。
- ・ 販売価格の動向について、悪化又は今後を懸念と回答した事業者が約8割であり、4月から2割強増加。
- ・ 8月の時点で製材・合板工場向け原木販売は3割減、梱包工場向けは5割減で、特にトドマツの販売が厳しく、また回復まで時間がかかる見通し。

## ○原木の出荷・販売状況、売上げの動向

■ 出荷数量の動向（前年同月比）



■ 販売価格の動向（前年同月比）



## ■ 8月時点の情報

### 【現状】

- ・ 製材工場等の受入制限・停止により原木が滞留し、原木価格の下落も見られ始めている。特にトドマツの受入が非常に厳しい状況。
- ・ 製材・合板工場向け原木販売は3割減、梱包工場向けは5割減の落ち込み。
- ・ 燃料用チップ向け原木は順調に販売できているが、製紙用は一部受入制限。

### 【見通し】

- ・ トドマツ・カラマツ合板用材は9月まで受入制限が続くなど、製品市況の改善には時間がかかる見込み。
- ・ 道南地域ではスギ材の輸出が回復傾向。

# 1 原木生産（北海道地区）（つづき）

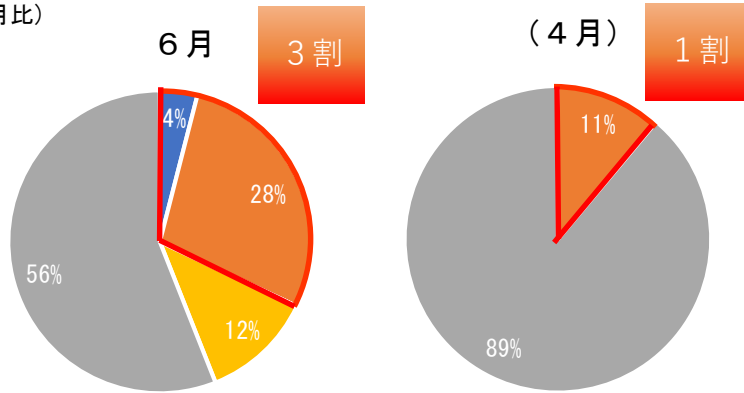
- ・生産状況について、減産していると回答した事業者が約3割であり（4月比2割増）、減産割合も「20%以上」が増加している。
- ・雇用確保のため生産の代替として、皆伐から間伐へ移行（63%）、伐採樹種を変更（63%）している。
- ・また7月以降、約3割の事業者が減産を実施予定と回答。
- ・8月時点でも、生産箇所の調整や、雇用確保のため生産以外の作業へ移行等している。

## ○原木の生産状況、作業の移行状況

■ 生産状況 (前年同月比)

- 減産 20%未満
- 減産 20%以上

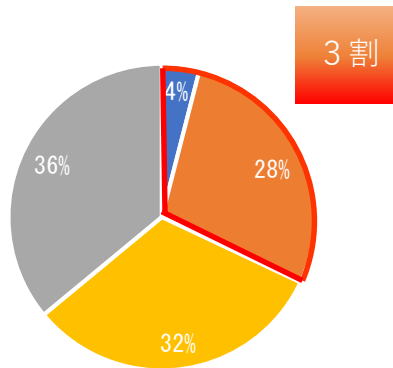
- 増産
- 変更したいが困難
- 増減なし (未回答含む)



■ 7月以降の生産状況 (予定) (前年同月比)

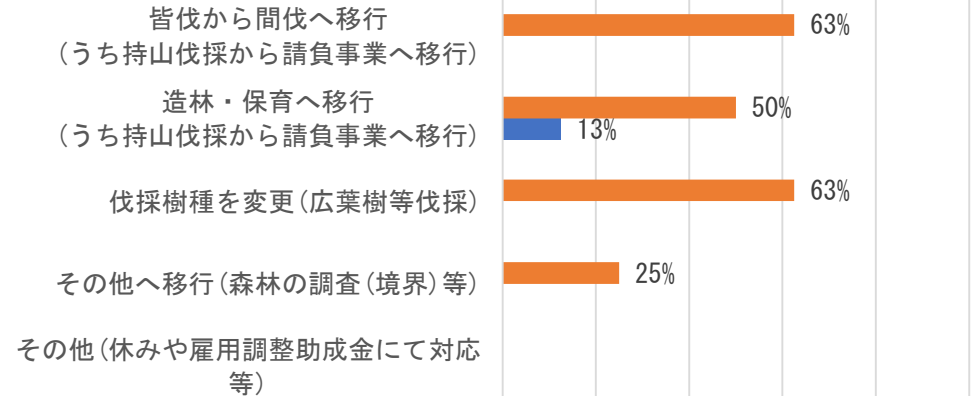
- 減産 20%未満
- 減産 20%以上

- 増産
- 変更したいが困難
- 増減なし (未回答含む)



■ 作業の移行状況 (減産を実施している事業者の回答) (複数回答有)

■ 回答数 ■ (内数)



■ 8月時点の情報

### 【現状】

- ・販売状況の悪化に伴い、生産箇所の調整や事業の延期、雇用確保のため、素材生産以外の作業へ移行している。

### 【見通し】

- ・先行きは不透明。
- ・現状が続けば、経営状況へのさらなる影響が懸念される。

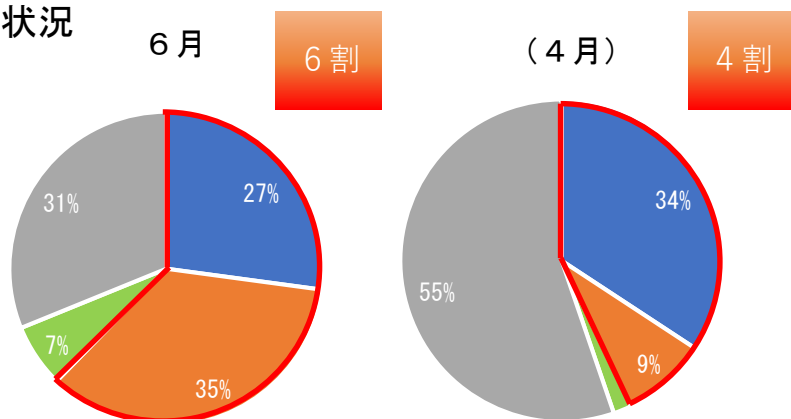
## 2 製材（全国）

全国の大手の製材工場を対象に6月の状況について調査（回答数199）を実施（4月の回答数は219）。

- ・ 約6割の工場が製品の減産を実施しており（4月比2割増）、減産割合も「20%以上」が増加している。
- ・ このため、約3割の工場が原木の入荷制限を継続（4月比1割増）。
- ・ 需要の先行き不透明な状況により、入荷制限は継続される見込み。

### ○製品の生産状況

- 減産 20%未満
- 減産 20%以上
- 増産
- 増減なし（未回答含む）



#### ■ 8月時点の情報

##### 【現状】

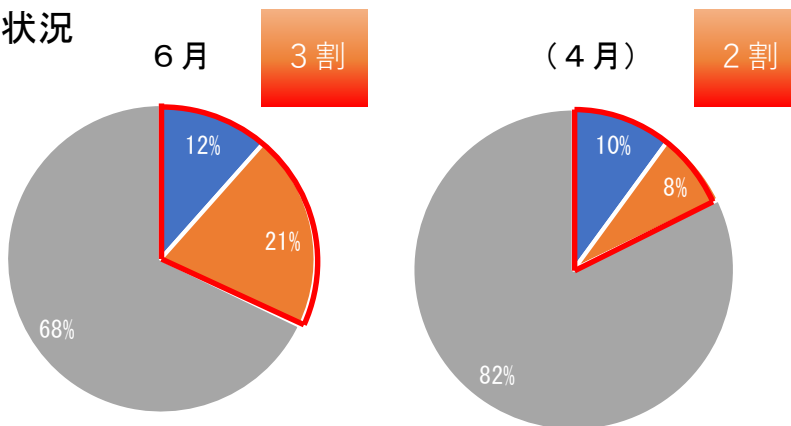
- ・ 製品生産・販売ともに全体的に減少傾向
- ・ 製品価格も下落傾向。
- ・ 特に梱包材・パレットやイベント等の仮設資材の需要が落ち込む。
- ・ ホームセンター向け製品の販売は増加。

##### 【見通し】

- ・ 先行きは不透明。
- ・ 秋以降、多少需要が回復しても限定的で、現状の傾向が続くとみられる。

### ○原木の入荷状況

- 制限 20%未満
- 制限 20%以上
- 制限なし（未回答含む）



#### ■ 8月時点の情報

##### 【現状】

- ・ 減産に伴い一部で入荷制限を実施。
- ・ 供給側の生産調整や天候の影響による出材量の減少により、原木調達が困難となる地域もみられる。

##### 【見通し】

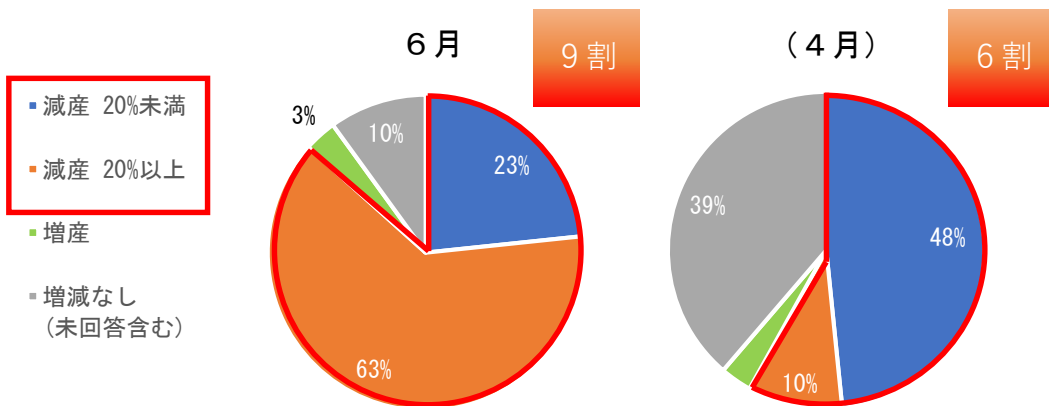
- ・ 先行きは不透明。
- ・ 販売状況によっては入荷制限を継続。

## 2 製材（北海道地区）

北海道地区の大手製材工場を対象に6月の状況について調査（回答数31）を実施（4月の回答数は30）。

- ・ 約9割の工場が減産していると回答しており（4月比3割増）、減産割合も「20%以上」が増加している。
- ・ このため、約2割の工場が原木の入荷制限を継続。
- ・ 特に梱包材・パレットの落ち込みが大きく、8月時点では需要の先行きが不透明なため、入荷制限は続く見込み。

### ○製品の生産状況



#### ■ 8月時点の情報

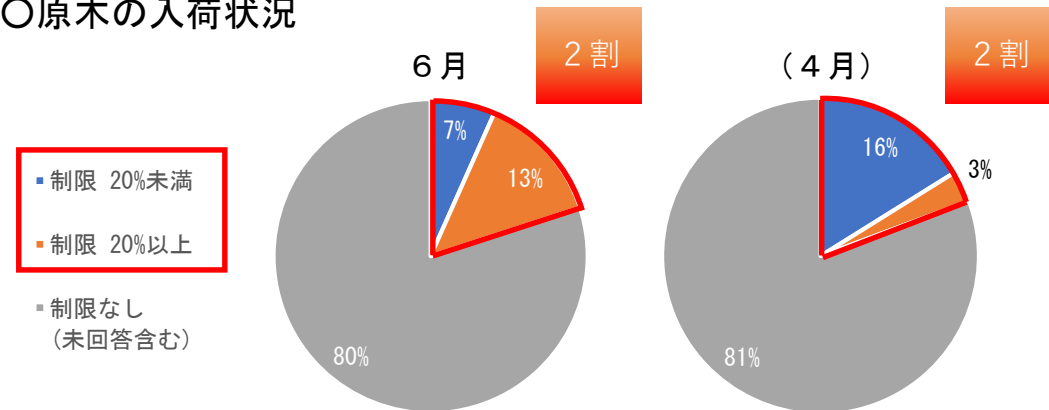
##### 【現状】

- ・ 製品の生産・販売は前年比1～3割程度減少。特に梱包材・パレットの落ち込みが大きい。
- ・ 製品価格は全体的に弱含み。

##### 【見通し】

- ・ 先行きは不透明。
- ・ 秋以降の需要は一層悪化する可能性。

### ○原木の入荷状況



#### ■ 8月時点の情報

##### 【現状】

- ・ 原木在庫が満杯状態で前年比3～4割減の受入制限を実施。

##### 【見通し】

- ・ 減産に伴い入荷制限は続く見込み。

### 3 合板（全国及び北海道地区）

合板工場を対象に6月の状況について調査（回答数31）を実施（4月の回答数は27）。

全国の状況として、

- ・合板の生産状況について、減産していると回答した事業者が約8割であり（4月比約2割増）、減産割合も「20%以上」が増加している。
- ・このため、約5割の工場が原木の入荷制限を継続（4月比1割増）。

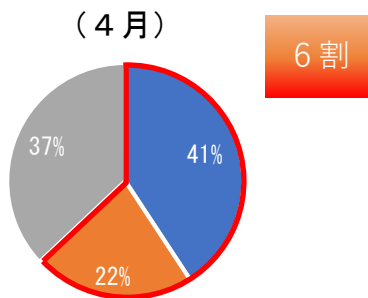
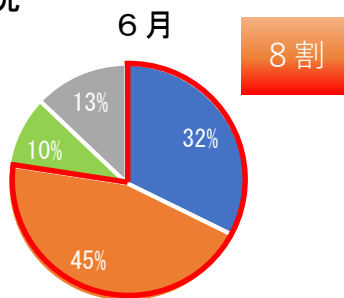
北海道地区においては、2割程度の減産と、それに伴う入荷制限が続いている。

#### ○製品の生産状況

- 減産 20%未満
- 減産 20%以上

■ 増産

■ 増減なし  
(未回答含む)



#### ■ 8月時点の情報【全国】

##### 【現状】

- ・製品は前年比1～3割減産。
- ・販売も前年比2割程度減少しており、価格も下落傾向。

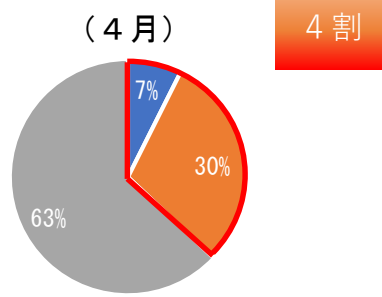
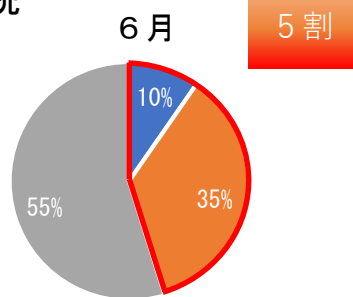
##### 【見通し】

- ・先行きは不透明。
- ・秋まで需要減退が続く見通しであり、当面は減産を継続。

#### ○原木の入荷状況

- 制限 20%未満
- 制限 20%以上

■ 制限なし  
(未回答含む)



#### ■ 8月時点の情報【全国】

##### 【現状】

- ・原木の受入制限を実施（前年比1～3割減）。
- ・一方、安定的に入荷を続けている工場もある。

##### 【見通し】

- ・先行きは不透明。
- ・減産の継続に伴い、原木の受入制限を継続する見込み。

#### ■ 8月時点の情報【北海道地区】

##### 【現状】

- ・前年比2割程度の減産。
- ・原木の入荷制限が継続。

##### 【見通し】

- ・9月まで生産調整を継続する見込み。その後は未定。
- ・当面の間、入荷制限が継続され、樹種・径級によっては冬まで続く見込み。



## 4 集成材（全国及び北海道地区）

集成材工場を対象に6月の状況について調査（回答数64）を実施（4月の回答数は64）。

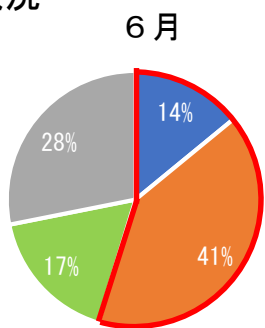
全国の状況としては、

- ・ 集成材の生産状況について、**減産**していると回答した事業者が**約6割あり**（4月比約3割増）、**減産割合も「20%以上」が増加**している。一方、**約2割**の事業者が**増産**していると回答。
- ・ このため**約1割**の工場が**原木の入荷制限を継続**。

北海道地区においては、受注減に伴い**3割**の工場が**減産**している。

### ○製品の生産状況

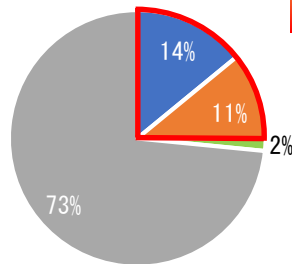
- 減産 20%未満
- 減産 20%以上
- 増産
- 増減なし（未回答含む）



6割

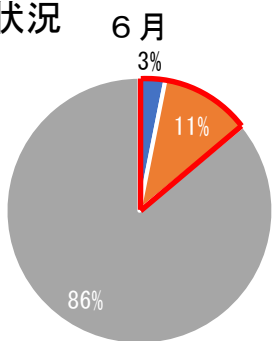
(4月)

3割



### ○原木の入荷状況

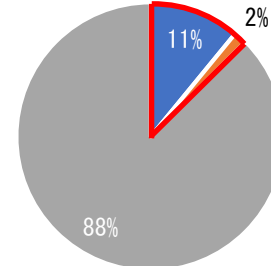
- 制限 20%未満
- 制限 20%以上
- 制限なし（未回答含む）



1割

(4月)

1割



### ■ 8月時点の情報【全国】

#### 【現状】

- ・ 製品は前年比2～3割減産。
- ・ 安価な輸入製品との競合により、製品価格が下落傾向。
- ・ 一方、非住宅物件向け（公共・民間）の構造用集成材の需要が増加しており、高い稼働率を維持している工場もある。

#### 【見通し】

- ・ 先行きは不透明。受注増は期待できず、当用買いが続く見込み。
- ・ 一方、非住宅物件向けの需要増により、前年比3割増の受注を見込む工場もある。

### ■ 8月時点の情報【全国】

#### 【現状】

- ・ 受注低迷のため入荷制限を実施。

#### 【見通し】

- ・ 先行きは不透明。当用買いが続く見込み。

### ■ 8月時点の情報【北海道地区】

#### 【現状】

- ・ 受注が減少しているため、前年比3割の減産。

#### 【見通し】

- ・ 先行きは不透明。

## 5 チップ（全国及び北海道地区）

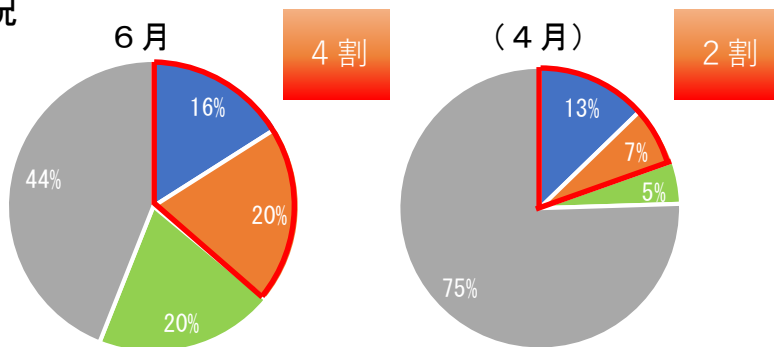
大手のチップ工場を対象に6月の状況について調査（回答数100）を実施（4月の回答数は102）。  
 全国の状況としては、

- ・生産状況について、**減産**していると回答した事業者が**約4割**あり（4月比約2割増）、**減産割合も「20%以上」が増加**している。一方、2割の事業者が増産していると回答。
- ・**約1割**の工場が**原木の入荷制限を継続**（4月から微増）。

北海道地区においては、**パルプ用チップが減少**した分、**燃料用チップ生産**により生産量を確保している。

### ○製品の生産状況

- 減産 20%未満
- 減産 20%以上
- 増産
- 増減なし（未回答含む）



### ■ 8月時点の情報【全国】

#### 【現状】

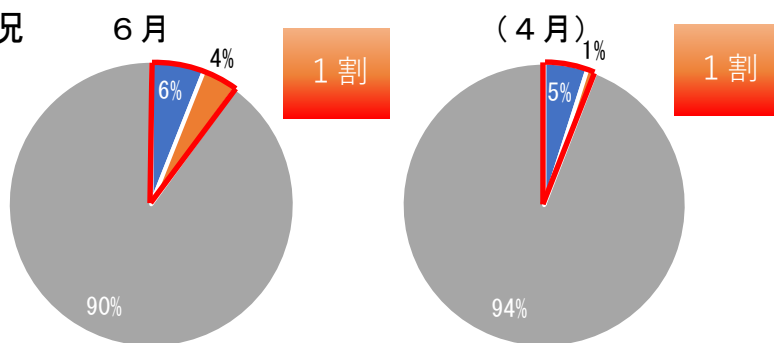
- ・製紙需要の減退により、パルプ用チップは針葉樹、広葉樹とも減産。
- ・燃料用チップの生産・販売は堅調。

#### 【見通し】

- ・製紙は今後も厳しい減産が続く見込み。
- ・燃料用需要は継続。

### ○原木の入荷状況

- 制限 20%未満
- 制限 20%以上
- 制限なし（未回答含む）



### ■ 8月時点の情報【全国】

#### 【現状】

- ・パルプ用原木の受入を制限している工場もある。
- ・燃料用原木は地域によってややひっ迫。
- ・合板用原木の一部がチップ用に利用されることもみられる。

#### 【見通し】

- ・パルプ用原木は今後も受入制限を継続する見込み。
- ・木質バイオマス発電施設の増加により燃料用原木は地域によって、調達が一層厳しくなる可能性。

### ■ 8月時点の情報【北海道地区】

#### 【現状】

- ・針葉樹、広葉樹とも製紙用は需要減。燃料用と合わせて生産量を確保している状況。

#### 【見通し】

- ・製紙需要は今後も増える状況にないと見込まれる。

資料：林野庁木材産業課調べ

調査対象：全国のチップ工場（木材チップ生産量1万t/年以上）